

アクアセル®

サージカル

Hydrofiber® dressing



術後管理の省力化
感染リスクの低減



ConvaTec

アクアセル®サージカルは創傷を保護し、 滲出液に含まれる細菌を封じ込め、 感染リスクを低減します^{1,2}

ポリウレタンフィルムの外層で、
防水性と、バクテリアバリアを保ちます
(外層が保たれ、滲出液の漏出がない場合)



独自技術のハイドロファイバー®テクノロジー

肌に優しいハイ

封じ込める



- 滲出液と、細菌をゲル化時に封じ込めます
- ドレッシング交換時の交差感染のリスクを低減します³
- 創傷周囲の健常皮膚の浸軟を予防します^{4,5}

密着する⁶



- 創面に細菌が増殖することになる死腔を作りません

反応する



- 炎症反応に対応し、有害な細菌、酵素などを封じ込めます^{7,8}
- ゲル化することで、適切な創傷治癒環境を保ちます
- 頻繁なドレッシング交換に伴う疼痛を低減します⁹

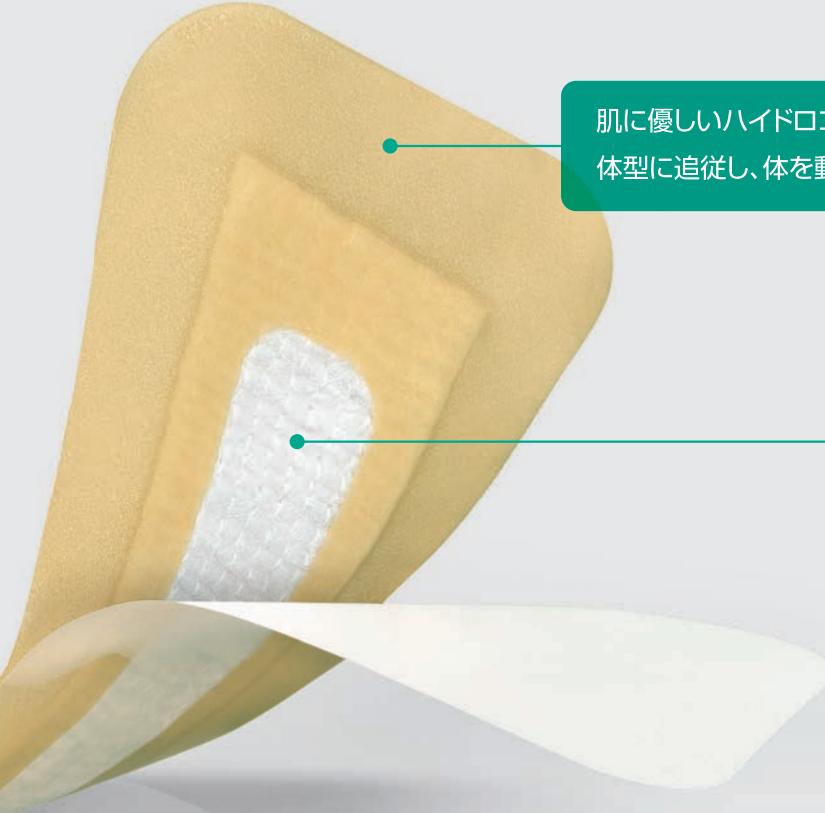
製品特長

- ポリウレタンフィルムの外層
- バクテリアバリアの役割を果たす

- 追従性

- ポリウレタンフィルムの外層
- 防水性





肌に優しいハイドロコロイド材は、
体型に追従し、体を動かしても貼付を維持します



ハイドロファイバー®テクノロジーにより、
滲出液を吸収し、細菌を封じ込めます

独自の素材の構成で、長時間の貼付と、
柔軟性を保ちます

ドロコロイド材

アクアセル®サージカルによる保護結果

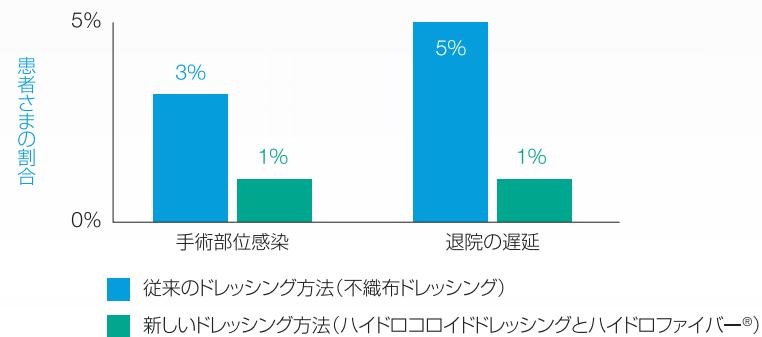
患者さまへの利点

- 感染のリスクを低減します
- 患者さまの術後の体動を妨げません
- 貼付したままシャワー浴やハイドロセラピーが可能です



428人の人工股関節置換術または人工膝関節置換術を受けた患者さまにおいて、術後創のドレッシング材料について前向き・比較試験が実施されました²

手術部位感染、退院の遅延に加え、貼付期間や交換回数において優位差がありました



	新しいドレッシング方法	従来のドレッシング方法	p-value
対象患者数(n)	242	186	
術後創感染(表層)	1%	3%	<0.03
水泡	2%	18%	<0.001
貼付期間(平均)	3.7日	2.3日	<0.001
交換回数(平均)	1.5回	3.2回	<0.001
退院の遅延	1%	5%	<0.02

手術部位感染の懸念

手術後の患者さまにおいて、 術後縫合創に関わる合併症について

- 手術部位感染(SSI)^{2,10}
- 水泡^{2,10}
- 出血¹
- 動作時の疼痛¹⁰
- ドレッシング交換時の疼痛や外傷¹⁰

手術部位感染が起こることによって 生じる結果^{11,12}

- 創の治癒遅延
- 再手術
- 全身疾患(例:敗血症)
- 入院の長期化
- 医療費の増加

従来の処置法(ガーゼなど)¹³

- 不快感がある
- 頻繁な交換が必要
- 浸漬が生じる
- 外部からの汚染の防止が限定的

合併症やそれに付随する状況の発生を抑えることや、付隨する状況を未然に防ぐことは、
治療期間の延長や医療費の増加を防ぎ患者さまのより良い生活につながります。

操作方法

本品を貼付する前に、創部を適切に洗浄し生理食塩液等でよくすすぎ、周囲の皮膚を乾燥させる。



①吸収性パッドが創部と直接接触する大きさの本品を選ぶ。本品の長軸方向に剥離紙を4分の3まで剥がす。このとき吸水性パッドと粘着層にできるだけ触れないように注意する。



②本品を創部の一方の端から創に沿って慎重に貼付していき、創面に密着させる。



③残る4分の1の剥離紙を剥がして、しっかりと固定されるよう創部に本品を密着させる。本品を引張り伸びした状態で貼付しないこと。



④本品を除去する際、片手で皮膚をそそぐと押さえ、もう片方の手で慎重に本品の隅を注意深く持ち上げゆっくりと剥がす。本品を引き伸ばして接着面と皮膚の間に隙間を作り除去する。

アクリセル[®] サージカル



全体	ウインドウ部分	包装	注文番号
10×9cm	4×3cm	10枚/箱	00470
15×9cm	9×3cm	10枚/箱	00471
25×9cm	17×3cm	10枚/箱	00472
30×9cm	22×3cm	10枚/箱	00473
35×9cm	27×3cm	10枚/箱	00474

【警告】

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。

【感染を悪化するおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆・保護材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行ない、慎重に使用すること。】

【禁忌・禁止】

再使用禁止

再滅菌禁止

体内への挿入、埋め込み又は留置をしないこと。

本品又は本品の構成成分に過敏な人又はアレルギー反応を有する人に、本品を使用してはならない。

【使用目的、効能又は効果】

術後創傷、創傷のために用いる適切なサイズの被覆・保護材である。

届出番号：13B1X10071000002

医療用品(4) 整形用品

一般医療機器 手術用被覆・保護材 JMDNコード:34654000

一般医療機器 急救・創傷 JMDNコード:34864000

※ご使用前には添付文書を必ずお読みください。

参考文献

- 1 Harle S, Korhonen A, Kettunen JA, Seitsalo S. A randomized, clinical trial of two different wound dressing material for hip replacement patients. *J. Orthop Nurs.* 2005;9:205-210.
- 2 Clarke JV, Deakin AH, Dillon JM, Emmerson S, Kinninmonth AWG. A prospective clinical audit of a new dressing design for lower limb arthroplasty wounds. *J Wound Care.* 2009;18(1):5-11.
- 3 Bowler PG, Jones SA, Davies BJ, Coyle E. Infection control properties of some wound dressings. *J. Wound Care.* 1999;8(10):499-502.
- 4 Coutts P, Sibbald RG. The effect of a silver-containing Hydrofiber dressing on superficial wound bed and bacterial balance of chronic wounds. *Int. Wound J.* 2005; 2(4):348-356.
- 5 Robinson BJ. The use of a Hydrofiber dressing in wound management. *J. Wound Care.* 2000; 9(1):32-34.
- 6 Jones SA, Bowler PG, Walker M. Antimicrobial activity of silver-containing dressings is influenced by dressing conformability with a wound surface. *Wounds.* 2005;17(9):263-270
- 7 Walker M, Hobot JA, Newman GR, Bowler PG. Scanning electron microscopic examination of bacterial immobilisation in a carboxymethylcellulose (Aquacel) and alginate dressings. *Biomaterials.* 2003;24:883-890,8.
- 8 Hoekstra MJ, Herman MH, Richters CD, Dutrieux RP. A histological comparison of acute inflammatory responses with a Hydrofiber or tulle gauze dressing. *J. Wound Care.* 2002; 11(3):113-117.
- 9 Armstrong SH, Ruckley CV, et al. Use of a fibrous dressing in exuding leg ulcers. *Journal of Wound Care.* 2007; 6 (7):322-324
- 10 Ravenscroft MJ, Harker J, Buch KA. A prospective, randomised, controlled trial comparing wound dressings used in hip and knee surgery AQUACEL® and Tegaderm versus Cutiplast. *Ann R Coll Surg Engl.* 2006;88:18-22.
- 11 Leaper D, Synder RJ. The complex issue of wound infection. In: Advancing Your Practice: Understanding Wound Infection and the Role of Biofilms. Association for the Advancement of Wound Care. 2008; 5-9
- 12 Mangram AJ, Horan TC, et al. Guideline for prevention of surgical site infection, 1999. *Infection Control and Hospital Epidemiology.* 1999
- 13 Hulten L. Dressings for surgical wounds. *Am J Surg.* 1994; 167 (suppl1A):42S-45S.

®はConvaTec Inc.の登録商標です。© 2015 ConvaTec Inc.